

PICK UP!!

お 職員の推し本



プレゼントでできている

矢部 太郎 / 新潮社

ゆる〜いタッチの絵柄も相まって、とても優しそうな印象の矢部さん。そんな矢部さんだからか、炊飯器や冷蔵庫など、お部屋の中は貰い物でいっぱいです。

色々な優しさを貰って生きている…と思いながらも、貰って少し困ってしまった鹿の角は視界に入らないところに置いたり、柿が渋くて許せないと思ったり。優しさだけではない、ちょっとブラックなところも垣間見え、楽しく読み進めました。

なんだか少し疲れてしまったときなど、ほっこりしたい時におすすめの1冊です♪

雪の結晶ノート

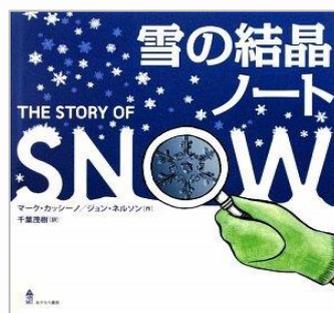
マーク・カッシーノ+ジョン・ネルソン / あすなろ書房

今年も雪の季節がやって来ました。黒っぽいジャケットなど着ていると、ふわりととまった雪の中に、目を凝らすと六角形の結晶が見えることがありますね。

小さな小さな雪の結晶…なぜ、こんなに美しく、複雑な形をしているのでしょうか？

雪の結晶の本はたくさん出ていますが、どれもちょっと難しく、写真を眺めるだけになってしまいがち。この本は、子どもにも理解しやすいように、やさしい言葉とイラストで説明してくれています。

水と空気の織り成す「自然の芸術」…。その神秘に迫る今の季節にぴったりの美しい写真絵本です。



シカしかいない

キューライス / 白泉社

近頃、ニュースでシカの大群が街中を走っている場面を見ました。図書館の近くでもシカが目撃されました。私たちの暮らした、シカとの距離が近くなってきている気がします。そんな中で読んだこの絵本。公園、銭湯、レストラン、映画館や飛行機の中など、普段私たちが生活している場面で「シカしかいない」状況が描かれています。

登場する全てのシカの表情がなんとも可愛らしく、愉快です。そして、お話はちょっぴりシュール！子どもも大人もはまってしまうキューライスさんの世界♪ぜひ、手に取ってお楽しみください。